



代表取締役 坪井 高夫

培った豊富な業界経験を活かし ニーズに応える内装工事の匠

Company Data

株式会社 リライブ

埼玉県三郷市早稲田 6 丁目 28-7

天井や壁、床の造作をはじめ、塗装や内装仕上工事、家具製作、防災設備工事まで幅広く手掛ける『リライブ』。内装業界一筋に歩んできた坪井社長は、これまで培った豊富なノウハウで以て多様なニーズに応えている。タレントのダンカン氏が社長にお話を伺った。

——早速ですが、坪井社長の歩みからお聞かせ下さい。

静岡県浜松市の出身です。東京の大学で学んでいたのですが、3年生の時にインテリアに興味を持ちまして。それから一念発起して大学を中退して、インテリアデザインの専門学校に入学したんです。そちらで2年ほど学んだ後、内装の会社に就職。希望したデザインの部門ではなく工事部門に配属され、現場監督としてキャリアを蓄積しました。その後、デザインができると聞いて他社に移籍しましたが、そちらでもまた工事部門を任されるようになってしまって(笑)。それだけ経験を重ねるといつしか現場が楽しくなり、3社で合計12年ほど勤めて独立したんです。

——工事部門にやり甲斐を見出された。独立のきっかけは何かありましたでしょうか。

多くの現場で技術を磨き、実績を培っていくうちに、自分にお客様がついて下さるようになったことが大きいですね。現場だけでなく飛び込み営業も手掛けていましたから、「ゼロからでも何とかやる」と思って独立への一歩を踏み出したんですよ。幸い家族の理解もあり、迷いなく進むことができました。実は、私は過去に2度ほど「独立したい」と言っ

たことがあるのですが、その時はまだ若いからと妻に反対されたんです(苦笑)。けれども今回は、妻のほうから独立を後押ししてくれました。「何かあれば、私も働くから」と言ってくれて、本当に心強かったですね。

——社長が直向きに努力されている姿が一番近くでずっと見られてきたからこそ、応援したいと思われたのでしょうか。

家族の支えがあったからこそ、ここまで来られたと感謝しています。勤めていた時は忙しくて何日も家に帰れないことがありましたが、今は時間の使い方も仕事の進め方も自分の裁量で決められます。以前よりも家族と過ごす時間も増えて、本当に良かったと思っています。

——独立後は順調に進めましたか。

はい。新規顧客の開拓を進めつつ、勤務時代からのつながりなどでお仕事をいただくことができ、堅調な歩みを進められていると思います。現在、新規営業先を中心に10数社とお取引させていただくまでになりました。事業内容としては内装工事を主軸に据えており、天井や間仕切、床の造作をはじめ、塗装工事、内装仕上工事、家具製作など様々な工事を手掛けています。また、パーテーション工事や電気水道空調設備工事、防災設備工事などの請け負いも行っています。こ



れまでの経験で培ったノウハウで、フットワーク軽く、多様なニーズにお応えできることが当社の強みですね。

——それは心強い！ お話も尽きませんが、最後に今後の展望を伺います。

5年後を目処に建設業の許可を取得できるので、それから従業員を雇用して基盤を整えていきたいと考えています。そして10年後には10人ほどの規模にまで拡大し、より多くのニーズにお応えできる体制を構築したいですね。

(2019年8月取材)

「『建築業界は3Kとも言われますが、たとえ学歴がなくても夢を見ることが出来る数少ない仕事のうちの一つ』だと坪井社長。次世代を担う若い人にも、どんどん入ってきてもらいたいですね！」



interviewer
ダンカン